

第三者評価結果（乳児院）

評価対象Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・ ① ・c
<p><コメント>理念及び方針については、ホームページやパンフレットに記載され、月1回の職員会議で確認し、周知が図られている。</p>		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	I-2-(1)-① 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・ ② ・c
<p><コメント>児童相談所や市及び関係機関と連携をしながら、養育支援のニーズ把握をしている。また、各種研修会や会議に参加して情報を得ている。</p>		
③	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a・ ③ ・c
<p><コメント>経営課題については、施設よりの報告や説明によって、法人本部で精査確認を行い改善を検討している。法人役員は現状について共有が図られている。</p>		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
④	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・ ④ ・c
<p><コメント>法人本部及び施設の管理者等は、施設の運営や養育・支援の充実を図るべく、計画的に取り組んでいるが、中・長期的（3年～5年）のビジョンの書面での明文化はされていない。今後は中・長期的なビジョンや計画書の策定を期待する。</p>		
⑤	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・ ⑤ ・c
<p><コメント>単年度計画については、理念や方針の実現に向けた事業計画を策定している。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		

6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<p><コメント>毎年度末に職員より意見を集約して、施設長が作成している。職員には配布されておらず、周知については不十分である。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p><コメント>面会に来た保護者については、配布のうえ口頭で説明して理解を図っている。面会に来られない保護者についても、児童相談所を通して出来る限り伝えてもらうよう努めている。</p>		

I-4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p><コメント>法人独自で作成した個人目標管理シートによる自己評価を年3回実施し、評価分析をして養育支援の質の向上に活かしている。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p><コメント>結果について、定例会議やユニット会議においてそれぞれ現状分析をして、課題解決のために、それぞれ改善策を検討している。</p>		

評価対象Ⅱ 施設の運営管理

Ⅱ-1 施設長の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 施設長の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・b・c
<p><コメント>施設長は、職員会議等で施設管理者としての役割や責任について表明し、共通認識のもと運営すべく理解を図っている。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント>遵守すべき法令等については、各種研修会の参加や関連書籍により理解に努め、職員に対して周知している。</p>		
Ⅱ-1-(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		

12	Ⅱ-1-(2)-① 養育・支援の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・ b ・c
<p><コメント>養育・支援の質の向上については、職員の研修体制の整備や職員の自己研鑽について促し、指導力を発揮している。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・ b ・c
<p><コメント>職員会議等での意見を集約し、勤務時間等の変更や業務の改善について、取り組んでいる。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・ b ・c
<p><コメント>現在、必要な職員の確保が十分でないため、職員の採用活動に力を注ぎ、新設した施設の見学会や就職説明会を行い、人材確保を行っている。</p>		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・ b ・c
<p><コメント>人事管理は法人・施設長が中心に行い、毎年独自の自己評価表に基づき人事考課が行われている。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・ b ・c
<p><コメント>日常の職員会議や職員の個別面談を通して意向や意見を把握して、働きやすい職場づくりに努めている。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取り組みを行っている。	a・ b ・c
<p><コメント>個人目標管理シートによる自己評価に基づき、職員一人ひとりの目標設定を行い目標の達成等を確認し、育成に向けた取り組みをしている。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・b・ c
<p><コメント>職員の教育や研修に関する方針等は、法人で位置づけされており、施設独自の研</p>		

修計画は策定されていない。		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・b・㉔
<p><コメント>研修計画が策定されていないため、職員一人ひとりの研修の機会は確保されていない。院内研修として個別的にOJT研修は実施されている。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・㉕・c
<p><コメント>実習生受け入れマニュアルを基に、担当が学校と連携しプログラムを作成して、受け入れを行っている。</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・㉕・c
<p><コメント>法人のホームページ等により適正に情報公開されており、第三者評価の受審も2回目です。苦情解決システムも整備されている。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・㉕・c
<p><コメント>外部監査は実施していないが、法人の公認会計士によるチェックや、指導・助言を得て適正な運営に努めている。</p>		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・㉕・c
<p><コメント>施設が新しい所に移動したが、施設の行事等に地域住民の参加を呼びかけ、交流を図っている。</p>		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・㉕・c
<p><コメント>ボランティアについては、積極的にホームページで募集しPRを図り、受け入れを</p>		

行っている。来年度より地域の小学校と連携し、福祉教育に取り組む予定である。		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・b・㉔
＜コメント＞児童相談所や行政との連携は定期的に行っているが、他の関係機関・団体との連携は十分でない。		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 施設が有する機能を地域に還元している。	a・b・㉔
＜コメント＞新しい場所に移動したためまだ施設のPRが十分でなく、今後地域に対して施設の存在を広報して、取組んでいく予定である。		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・㉕・c
＜コメント＞行政よりの事業として病後児保育・短期入所事業を実施しているが、今後地域のニーズ把握や関係機関・団体と連携しながら公益的な活動の検討を期待する。		

評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施

Ⅲ-1 子ども本位の養育・支援

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した養育・支援提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	㉖・b・c
＜コメント＞子どもを尊重した養育・支援については、養育理念「家庭的な雰囲気の中で、愛情と躰によって子ども達の健康と未来を保障する」・養育方針（4点）をもとに常に職員会議で確認されており、子どもの尊重や基本的人権の配慮についても、勉強会や研修を通して共通理解とチェックシートを利用するなどして定期的に状況の把握・評価を実施した取り組みを行っている。		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した養育・支援提供が行われている。	a・㉕・c
＜コメント＞子どものプライバシー保護の権利については、危機管理マニュアルが作成され、毎月の職員会議で規定・マニュアルの再確認を行う体制の取り組みを行っている。		
Ⅲ-1-(2) 養育・支援の提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 保護者等に対して養育・支援選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・㉕・c

<p><コメント>保護者に対しては、パンフレットやホームページでわかりやすく説明し、見学希望者についても個別に丁寧に説明をしている。</p>		
31	<p>Ⅲ-1-(2)-② 養育・支援の開始・過程において保護者等にわかりやすく説明している。</p>	a・ ② ・c
<p><コメント>養育・支援の開始・過程においては、保護者にわかりやすくパンフレットを用い部屋を見ながら説明し、同意を得ている。</p>		
32	<p>Ⅲ-1-(2)-③ 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。</p>	a・ ② ・c
<p><コメント>措置変更や地域・家庭への移行は、児童相談所や関係機関から説明や情報を得て、支援担当者を中心とし、保護者の相談悩みに寄り添った支援を行い、退所時に対しても継続に配慮した体制が行っている。</p>		
<p>Ⅲ-1-(3) 子どもの満足の向上に努めている。</p>		
33	<p>Ⅲ-1-(3)-① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。</p>	a・ ② ・c
<p><コメント>子どもの満足の向上については、日々の関わりの中で活動時間に、個別活動や担当者との愛着関係が得られるような時間の設定に努めている。</p>		
<p>Ⅲ-1-(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>		
34	<p>Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。</p>	a・ ② ・c
<p><コメント>苦情解決の体制が整備されており、わかりやすく説明した文書の掲示と保護者に詳しく説明するなどの仕組みが行われている。</p>		
35	<p>Ⅲ-1-(4)-② 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。</p>	a・ ② ・c
<p><コメント>保護者が話しやすいように、玄関に苦情受付対応の件についての説明を掲示し、相談室も設置され、意見が述べやすい環境に取り組んでいる。</p>		
36	<p>Ⅲ-1-(4)-③ 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。</p>	a・ ② ・c
<p><コメント>保護者からの相談・意見は、マニュアルに沿った記録や対応策ができ、職員は日々の養育・支援の中でも、保護者が相談・意見を出しやすいよう、的確に迅速な対応に努めている。</p>		
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な養育・支援の提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
37	<p>Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な養育・支援の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。</p>	a・b・ ③

<p><コメント>安心・安全な養育・支援において、安全確保のマニュアルは確保されているが、リスクマネジメント体制において、事例や研修で学ぶ体制が不足している。</p>		
38	<p>Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。</p>	a・b・c
<p><コメント>感染症の予防や発生時の安全確保のために、感染症対応マニュアルが作成され、発生時には、看護師指導により感染予防と安全のために指導と処置が実施されている。さらに、定期的に感染症予防と安全確保に関する研修会を実施するなどの取り組みが行われている。</p>		
39	<p>Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。</p>	a・b・c
<p><コメント>災害時における安全確保については、消防署指導のもと定期的な訓練と夜間想定避難訓練は、二人体制で実施している。避難場所には法人の施設が指定され、備蓄も整備されている。さらに自家発電が設備されるなど、安全確保の取り組みが行われている。</p>		

Ⅲ-2 養育・支援の質の確保

		第三者評価結果
<p>Ⅲ-2-(1) 提供する養育・支援の標準的な実施方法が確立している。</p>		
40	<p>Ⅲ-2-(1)-① 提供する養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が提供されている。</p>	a・b・c
<p><コメント>養育・支援の標準的な実施方法が年間を通して文書化され、各ユニットに掲示されている。また、標準的な実施方法については担当職員全員で関わり、子どもの尊重・プライバシーの保護・についても掲示されている。</p>		
41	<p>Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p>	a・b・c
<p><コメント>標準的な実施方法の検証・見直しはユニット変換時の年度末に行われ、養育・支援計画も子ども・保護者に向けて必要に応じて反映され、また、児童相談所も見直しに来ている。</p>		
<p>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより養育・支援実施計画が策定されている。</p>		
42	<p>Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な養育・支援実施計画を適切に策定している。</p>	a・b・c
<p><コメント>養育支援計画はアセスメントにもとづきに、適切に策定されている。子ども一人ひとりのニーズが明示され、児童相談所の確認により養育支援が実施されている。</p>		
43	<p>Ⅲ-2-(2)-② 定期的に養育・支援実施計画の評価・見直しを行っている。</p>	a・b・c

<p><コメント>養育・支援計画の評価・見直しは、担当職員や関係職員により手順書を定め、年に1度、個別の見直しの実施を行っている。</p>		
<p>Ⅲ-2-(3) 養育・支援実施の記録が適切に行われている。</p>		
44	<p>Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する養育・支援実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。</p>	(a)・b・c
<p><コメント>養育・支援の記録は、子どもの身体状況や生活状況が養育支援計画にもとづいて、わかりやすく記録されている。また、定期的な会議の開催により、職員間での共有に取り組んでいる。</p>		
45	<p>Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。</p>	(a)・b・c
<p><コメント>個人情報保護規定により、記録の保管や保存情報の提供については、的確に保管管理されている。また、職員には入社段階で、個人情報の件について詳しく説明を行ない、誓約書に記入してもらうなどの体制が行われている。</p>		

内容評価基準（22項目）

※「共通評価基準評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施」の付加項目

A-1 子ども本位の養育・支援

		第三者評価結果
<p>A-1-(1) <u>子どもの尊重と最善の利益の考慮</u></p>		
A①	<p>A-1-(1)-① 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。</p>	(a)・b・c
<p><コメント>社会的養護が子どもの最善の利益を目指せるよう「乳児院 倫理綱領」・「より適切なかわりをするためのチェックポイント」を活用し、職員の共通理解を図るために、会議を実施し、日々の養育・支援が行われている。</p>		
<p>A-1-(2) <u>被措置児童等虐待対応</u></p>		
A②	<p>A-1-(2)-① いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めするような行為を行わないよう徹底している。</p>	(a)・b・c
<p><コメント>毎月の職員会議で「体罰防止チェックシート」を用い、関わりについての再確認を実施し、さらに、日頃から体罰が起こりやすい状況や場面についても、院内研修や話し合いを行うなど周知徹底が行われている。</p>		

A③	A-1-(2)-② 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a・ ③ ・c
<p><コメント>不適切なかかわりの防止と早期発見については、具体的な例をもとに会議で検討し、日頃からの援助状況については、直ぐに確認する設備ができるなどの体制に取り組んでいる。</p>		
A④	A-1-(2)-③ 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	a・b・ ④
<p><コメント>虐待についてのマニュアルはあるが、届出・通告制度については、職員間の理解が薄い。事案などでは、定例会等で検証し理解を深める体制が行われている。</p>		

A-2 養育・支援の質の確保

		第三者評価結果
A-2-(1) 養育・支援の基本		
A⑤	A-2-(1)-① 子どものこころによりそいながら、子どもとの愛着関係を育んでいる。	⑤ ・b・c
<p><コメント>子どもとの関わりには、一貫した担当制を持って、個別活動時間の配慮がされている。担当職員が院内で一緒に泊まったり、母子訓練室に泊まったりして、子どもとの愛着関係に取り組んでいる。</p>		
A⑥	A-2-(1)-② 子どもの生活体験に配慮し、豊かな生活を保障している。	⑥ ・b・c
<p><コメント>安心した家庭的な環境の中、ゾーン遊びや自由に遊びを選択できるように配置されている。また、自然とのふれあいについては、毎日公園まで出かけ戸外遊びの興味や好奇心により、満足感と楽しさが得られる配慮がされている。</p>		
A⑦	A-2-(1)-③ 子どもの発達を支援する環境を整えている。	a・ ⑦ ・c
<p><コメント>子ども一人ひとりの生活環境や心理的状况を把握して、穏やかに言葉をかけている。子どもが安心して寄り添えるよう、職員も抱っこや声かけるなどの対応が行われている。</p>		
A-2-(2) 食生活		
A⑧	A-2-(2)-① 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	⑧ ・b・c
<p><コメント>授乳は発達に応じた個々のリズムや体調・量・時間などを考え、目線をあわせ、</p>		

<p>ゆったりとして飲めるよう、さらに、授乳後の排気にも十分注意を払い安心安全な支援を行っている。</p>		
A⑨	A-2-(2)-② 子どもの生活体験に配慮し、豊かな生活を保障している。	a・ ⑥ ・c
<p><コメント>安心した生活環境の中、体調や発育状況を考え離乳の時期や食生活の楽しさ・遊びが得られるよう配慮している。</p>		
A⑩	A-2-(2)-③ 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。	⑦ ・b・c
<p><コメント>食事は生活の流れを見直して、明るく広い所で乳幼児と職員と一緒に美味しく楽しい時間で行われている。さらに栄養士・調理員も一緒に食事に関わりながら、嚥下や嗜好の様子を理解し、一人ひとりの発育・体調に考慮した調理が行われている。</p>		
A⑪	A-2-(2)-④ 栄養管理に十分な注意を払っている。	⑧ ・b・c
<p><コメント>乳幼児の体調や疾病を考慮し、嗜好・摂取量なども把握し、季節感を取り入れた食事が行われている。給食室での調理の様子やにおいて食事を感じ取り、畑から野菜の収穫を行うなど、食育にも関心がもてる工夫をしている。</p>		
<p>A-2-(3) 衣生活</p>		
A⑫	A-2-(3)-① 気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。	⑨ ・b・c
<p><コメント>床暖房の気温管理に十分注意を払いながら、発達状況に応じ薄着を心掛け、一人ひとりの体調や体型を汲み取り、気温に応じた衣類管理が適切に行われている。</p>		
<p>A-2-(4) 睡眠</p>		
A⑬	A-2-(4)-① 乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。	⑩ ・b・c
<p><コメント>温・湿度、換気、明るさが適切に管理されている。生活のリズムとして、午前中の快適な活動と職員による安心した読み聞かせにより、十分な睡眠がとれる取り組みがされている</p>		
<p>A-2-(5) 入浴・沐浴</p>		
A⑭	A-2-(5)-① 快適な入浴・沐浴ができるようにしている。	a・ ⑪ ・c
<p><コメント>入浴は毎日午後実施されているが、発達・発育の状況により入浴は予定時間よりも早めに行われている。子どもが安心して心地よく入浴出来るように話しかけたり、玩具で遊びながら楽しむことが出来る支援が行われている。</p>		

A-2-(6) 排泄		
A⑮	A-2-(6)-① 乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。	a・ b ・c
<p><コメント>一人ひとりの発達段階に応じて排泄リズムを把握し、排泄への声かけを促しながら心地良さが得られるよう配慮した支援が行われている。</p>		
A-2-(7) 遊び		
A⑯	A-2-(7)-① 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。	a・ b ・c
<p><コメント>年齢に応じた玩具が用意されているが、子ども一人ひとりが交替で使用したり、職員は様々な利用の仕方や様子を感じ取り、遊びやすい配置を行っている。</p>		
A-2-(8) 健康		
A⑰	A-2-(8)-① 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。	a ・b・c
<p><コメント>一人ひとりの健康状態が保育日誌に記されており、年2回の健康診断・歯科検診・尿検診・ギョウ虫検査の実施、年齢に応じた予防接種の受診、また、日々の手洗いうがいの習慣励行により健康管理の取り組みが行われている。</p>		
A⑱	A-2-(8)-② 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。	a ・b・c
<p><コメント>病・虚弱児の健康管理については、毎日の身体状況や排泄・食事摂取状況を記録し、職員間で情報の共有が行われている。体調の変化時には、速やかに専門医や主治医との連携により適切な受診が出来る対応が取られている。</p>		
A-2-(9) 心理的ケア		
A⑲	A-2-(9)-① 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント>心理的ケアを必要とする子どもが少ない状況であるが、必要時には、児童相談所より心理職を依頼し、心理的支援の体制が出来ている。</p>		
A-2-(10) 施設と家族との信頼関係づくり		
A⑳	A-2-(10)-① 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a・ b ・c
<p><コメント>日常生活の子どもの様子はお便りを通して家族に伝え、行事等への参加呼びかけを行っている。面会時には家庭支援専門相談員も一緒に話し合いを行い、信頼関係に努めている。</p>		
A-2-(11) 親子関係の再構築支援		

A⑳	A-2-(11)-① 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a・㉑・c
<p><コメント>児童相談所と定期的に連携と情報交換を行いながら、親子の会やお便りを通して職員間では情報の共有を行い、親子関係の再構築に向けた取り組みに努めている。</p>		
A-2-(12) スーパービジョン体制		
A㉒	A-2-(13)-① スーパービジョンの体制を確立し、施設の組織力の向上に取り組んでいる。	a・b・㉓
<p><コメント>スーパーバイザーの体制が確立されており、定期的に個人面談が実施されている。基幹的職員が配置されており、職場としての支援にも質の向上に努めている。</p>		